

支部便り

関東支部第5回若手研究者ポスター発表会の概要報告

Brief report on the fifth young researchers' poster presentation meeting by Kanto branch

山本 篤史郎*
Tokujiro YAMAMOTO*

平成28年8月29日(月)、東工大蔵前会館くらまえホールにおいて平成28年度関東支部行事(総会、第5回若手研究者ポスター発表会、特別講演会)を開催し、72名に参加いただいた。本報ではその中での若手研究者ポスター発表会を中心に報告する。

本ポスター発表会は今後の社会を担う若手研究者の育成と交流を目的としている。企業若手研究者1名、ならびに、10大学から大学院生27名(博士前期・修士課程25名、博士後期課程2名)と学部生2名が、合計30件の発表を行った。なお、本ポスター発表会における発表は、関東支部における軽金属希望の星賞一次選考の際に業績として評価する対象となっている。

若手研究者ポスター発表会では、支部運営委員だけでなく発表者自身もまた他の発表者を採点する。発表技術を客観的に観察することにより、各自が今後の発表方法に良い点を取り入れ、悪い点を改善することが狙いのひとつである。具体的には、発表者を2つのグループに分け、発表会の各75分間の前後半で発表側と採点側を入れ替える。発表力、研究内容の理解度、発表態度などの観点から、発表者1人につき4件の発表を評価した。時間の経過に伴い徐々に発表側と採点側の双方の調子が良くなり、発表終了時間となっても熱い討論が続くほどであった。参加者は今回の経験を活かして、春秋の講演大会で優れた発表が行われることを期待する。

ポスター発表会の参加者はその後、吉田英雄氏(株式会社UACJ)による「超々ジュラルミンの開発から学ぶこと」、ならびに、里 達雄先生(東京工業大学名誉教授)による「アルミニウム合金の高性能化と新たな研究に向けて」の2件の特別講演会を聴講した。ジュラルミンの発明とその後の開発競争の歴史から、今後のアルミニウム合金開発の展望までを含めた長い時間軸の中で、自らが携わる研究の意義を再認識し、更なる勉学に勤しむ決意を新たにしたことであろう。

その後、懇親会において表彰式が行われ、優れた発表者に最優秀ポスター賞、優秀ポスター賞が授与された。また、関東支部委員の評価による関東支部長賞、関東支部特別賞などを含めて5種類の賞が延べ11名の発表者に授与された。本ポスター発表会では重複受賞を認めているため、複数の受賞という荣誉にあずかった者もいた。受賞者には高山善匡(宇都宮大学教授) 関東支部長より、賞状と図書券、企業ならびに大学の運営委員から提供された記念品が贈られた。

本ポスター発表会では、春秋の講演大会と異なり参加者数が限られるため、他大学の学生や企業関係者と中身の濃い質疑応答を行うことができ、非常に有意義な場となったと確信する。多くの参加者が今後の軽金属業界をリードし、より一

層盛り立ててくれることであろう。最後に、ご参加いただいた皆様、関東支部会員の皆様、特別講演会の講師の先生方、ご協力いただいた支部運営委員の皆様にご礼申し上げます。



図1 ポスター発表会の様子



図2 参加者の集合写真



図3 受賞者の記念写真



図4 ご講演いただいた吉田先生(左)と里先生(右)

* 関東支部幹事、宇都宮大学大学院機械知能工学専攻(〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2) E-mail: toku@cc.utsunomiya-u.ac.jp
受付日:平成29年1月20日